



新市誕生から10年。あれからとこれから

特集

ひとつ屋根の下



吉川研一さん(舞川・62)一家は8人家族。左から孫の朋ちゃん(5)、妻の弘子さん(55)、研一さん、孫の慎之助君(1)、夏帆ちゃん(7)、瑚哲君(2)、長男の妻の愛さん(30)、長男の直樹さん(34)。笑顔あふれる毎日の秘けつは会話にあります。研一さんは「衝突すること

もある。しかし、話せば分かり合える。家族だからね」とニコリ。愛さんは「互いに助けあうことで、子育てや家事なども、安心してできます」と話し、にぎやかな子供たちを見つめます。個性豊かな8人がひとつ屋根の下で暮らす吉川家。今日も、笑い声が響きます。

きつかわけんいち
吉川研一さん(舞川・62)一家は8人家族。左から孫の朋ちゃん(5)、妻の弘子さん(55)、研一さん、孫の慎之助君(1)、夏帆ちゃん(7)、瑚哲君(2)、長男の妻の愛さん(30)、長男の直樹さん(34)。笑顔あふれる毎日の秘けつは会話にあります。研一さんは「衝突すること

も。しかし、話せば分かり合える。家族だからね」とニコリ。愛さんは「互いに助けあうことで、子育てや家事なども、安心してできます」と話し、にぎやかな子供たちを見つめます。個性豊かな8人がひとつ屋根の下で暮らす吉川家。今日も、笑い声が響きます。

暮らしやすい地域をつくるため。人々の暮らしや経済活動が、よりスムーズに行われるよう、1999年から全国で「平成の大合併」が始まりました。

新「一関市」の誕生から10年

2005年9月20日。一関市は、1市4町2村の合併によって、新たに生まれ変わりました。およそ6年後の11年9月26日には、藤沢町と合併。人口、面積とも県内2位の自治体になりました。

本年は、05年の新市誕生から10年の節目です。独自の歩みが続けてきた8つの地域は、一関という、ひとつ屋根の下で家族のように暮らしてきました。

互いを支え、一歩ずつ歩んできた10年。まちは、人は、どのように変化したでしょう。

今号では新「一関市」誕生からの10年を振り返り、未来を見据えたまちづくりのあり方について考えます。(特集11ページまで)

あいな人 File_33 いちのせきを愛する人

幕内行司

木村晃之助さん

Kimura Konosuke 50 地主町出身

日々是好日をモットーに
土俵の上で平常心を貫く



今から34年前、木村晃之助さん(本名小島俊明)は一冊の雑誌に出会う。内容は行司の仕事ぶりを特集したもの。読み終えた木村さんは、行司という仕事に運命的なものを感じたのだという。

「行司になりたい」。決意を胸に1981年2月に上京。当時、一関に巡業で訪れたことのある九重親方(北の富士勝昭さん)を頼りに、九重部屋へと入門した。

力士同様、行司も各相撲部屋に所属する。行司の定員は45人。義務教育を終えた満19歳までの男子が採用の資格を持つ。行司の役割は土俵で勝負を判定するだけではない。土俵入りの先導、場内放送、番付を書くなどに加え、巡業では交通機関や宿泊先の手配、部屋割りなども行う。伝統を重んじる角界は、嫌ならば辞めろという厳しい世界。先輩たちの所作を見て学び、日々是好日という禅の言葉を胸に修業に明け暮れた。

「行司として47都道府県を30周した。全国どこでも、気負わず平常心で土俵に立つよう心掛けた」と振り返る。

81年3月に初土俵入り。94年8月に行われた一関場所には書記として参加した。98年1月に十両格に昇進。2008年1月には幕内格に昇進した。

本年8月、94年以来21年ぶりの一関場所。同級生たちが横断幕を作って凱旋を祝ってくれた。「持つべきものは友」と照れ笑いを見せる。

矢面に立つことを嫌い、裏で支えることを良しとする。「行司は力士の影。汁粉の塩のような存在。力士を応援してほしい」と行司のありかたを静かに語る。「この歳になって、かつて先輩たちが論じていたことが正しく理解できた。先人が築いたものを、正しく後輩たちに伝えることも務め。病氣、怪我なく無休で行司を勤め上げたい」と抱負を話す。土俵の上に、張りのある声が響くと、場内はこの日一番の歓声が上がった。(関連記事25頁)

Profile

1965年地主町生まれ。81年に上京。以来34年間、行司を務め続けてきた。書を好み、文字や言葉の意味について造詣が深い。「日々是好日」は、くよくよせず、毎日をかけがえのない一日と素直に捉えることが大切という意味がある。

6^{since1955}th おかげさまで60周年

トーバン印刷株式会社

一関営業所 一関市三関字日照107-5 TEL 0191-31-8808 FAX 23-7315
 本社・工場 一関市千蔵町神ノ田30-9 TEL 0191-52-2445 FAX 52-4230
 URL <http://www.makasete.jp> E-mail mail@makasete.jp

県内 No.1 部数! 県内ニュース充実!

岩手日報

ご購読申し込みは ☎ 0120-240840 盛岡市内丸3-7

一関センター: 一関市新大町8-9 TEL0191-23-3323
 山目センター: 一関市山目字中野5-1-4 TEL0191-25-5776
 東山センター: 一関市東山町長坂字町195 TEL0191-47-2370
 千蔵センター: 一関市千蔵町千蔵字前田90-16 TEL0191-52-2053
 室根センター: 一関市室根町折壁1丁目35 TEL0191-64-3290
 藤沢センター: 一関市藤沢町藤沢字柳平125-5 TEL0191-63-2616

配達員も募集中! お気軽に各店にお電話下さい。